

日時 平成30年7月23日(月)

13:30～16:00

かがわ総合リハビリテーションセンター

※第1回の連絡会の内容は、2名の講師の方に来て頂いて講演頂き、それを基にグループワークを行った。

参加者(敬称略):高松市役所、香川県難聴児(者)親の会、香川県手をつなぐ育成会、むつみ会、支援センタークリマ、高松市障がい者基幹相談支援センター、ライブサポートセンター、支援センターこだま、香川LD親の会、日本ダウン症協会香川支部、自閉症協会、KHJ香川県オリーブの会、支援センターあい

※ダイバーシティ・アテンダント検定について

講師:香川県難聴児(者)親の会

- ① ダイバーシティとは、多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。社会的マイノリティ(社会的少数者)の就業機会拡大を意図して使われることが多かったが、現在は性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴、価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することで生産性を高めようとするマネジメントについて。  
企業がダイバーシティを重視する背景には有能な人材の発掘、斬新なアイデアの喚起、社会の多様なニーズへの対応といったねらいがある。
- ②ダイバーシティ・アテンダント検定の3つの特徴は、1)サービス対象が、「高齢者」「外国人」「障がい者」「LGBT」など、特性のある人を広範囲にカバーしている。2)商業施設や観光施設などの様々な施設現場で活動できる内容。3)スマートフォンのアプリやテレビ電話など最新のICTを活用し、高度な内容を簡単に実行できる。
- ③日程2019年2月2日または2月5日 会場:東京 50問マークシート方式  
検定料金:17280円

※高松市障がい者基幹相談支援センターについて

講師:高松市障がい者基幹相談支援センター

- ①基幹相談支援センターとは、障がい者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるよう、障がいの種別に関わらず、総合的・専門的な相談や情報提供・助言、既存の障害福祉サービス事業所等との連絡調整などを行なう。
- ②特定相談支援事業所、障害児相談支援事業所の後方支援を行ったり、エリア内の障がい児、者が生活しやすくなるために、各エリアの社会資源を開発したり、ネットワーク作りを行う。

全体の感想

- ・人や場所などの繋がりを大事にしたい。
- ・親の亡き後の相談する時に基幹センターが出来たのはありがたい。
- ・緊急時の受け入れの対応を柔軟にして欲しい。
- ・緊急時の受け入れについて実際の事例を聞いてみたい。

等の意見が聞かれた。